

令和8年度半導体関連産業への新規参入促進事業に係る企画運営業務 審査評価基準

| 評価項目 | 評価基準 | 配点 | 係数 | 評価点 |
|-------------------------------|--|------------|----|------|
| | | | | 4~0点 |
| I 全体 | | 28 | | |
| 実施方針 | 本業務の趣旨や目的を理解した上で、実施に当たっての基本的な考え方やポイント等が的確に押さえられているか。 | 4 | 1 | |
| スケジュール | 実現可能なスケジュールとなっているか。 | 4 | 1 | |
| 実施体制 | 専門家の確保を含め、目的を達成するために十分な体制となっているか。 | 4 | 1 | |
| | 県内外の半導体関連企業へのネットワークを有する体制となっているか | 4 | 1 | |
| | 半導体産業に参入していない県内企業へのネットワークを有する体制となっているか。 | 4 | 1 | |
| 予算・経費 | 予算・経費の内訳は、業務内容を踏まえ妥当性があるか。 | 4 | 1 | |
| 類似業務の実績 | 同種又は類似業務に関する実績やノウハウを有しているか。 | 4 | 1 | |
| II 具体的な企画内容 | | 72 | | |
| i 現状と取組方針の整理・検討 | | 8 | | |
| 企画 | 仕様書4（1）に定める内容に合致しているか。 | 4 | 1 | |
| 専門性の確保 | 本企画の遂行に適した専門家となっているか。 | 4 | 1 | |
| ii 県内企業の意識醸成 | | 16 | | |
| 企画 | 仕様書4（2）に定める趣旨や目的に沿い、達成可能な内容になっているか。 | 4 | 1 | |
| | 本企画の結果、次項「iii 事業アイデア創出のサポート」への参加に繋がる内容となっているか。 | 4 | 1 | |
| 参加企業の確保 | アプローチ手法は適切であり、仕様書5に定める目標の達成が期待できるか。 | 4 | 1 | |
| 優位点 | 本業務の目的達成に寄与する独自の有益な提案が含まれているか。 | 4 | 1 | |
| iii 事業アイデア創出のサポート | | 20 | | |
| 企画 | 仕様書4（3）に定める趣旨や目的に沿い、達成可能な内容になっているか。 | 4 | 1 | |
| | 本業務の結果、次項「iv 事業化に向けた伴走支援」への参加に繋がる内容となっているか。 | 4 | 1 | |
| 参加企業の確保 | アプローチ手法は適切であり、仕様書5に定める目標の達成が期待できるか。 | 4 | 1 | |
| 優位点 | 本業務の目的達成に寄与する独自の有益な提案が含まれているか。 | 8 | 2 | |
| iv 事業化に向けた伴走支援 | | 20 | | |
| 企画 | 仕様書4（4）に定める趣旨や目的に沿い、仕様書5に定める目標を達成可能な内容になっているか。 | 4 | 1 | |
| | 新規事業化までの実現性を重視した内容となっているか。 | 4 | 1 | |
| 専門性の確保 | 本企画の遂行に適した専門家となっているか。 | 4 | 1 | |
| 優位点 | 本業務の目的達成に寄与する独自の有益な提案が含まれているか。 | 8 | 2 | |
| v 好事例が継続的に生み出される仕組みの検討 | | 8 | | |
| 仮説設定 | 提案書に記載の仮説は、仕様書4（5）に定める趣旨や目的に沿った内容となっているか。 | 4 | 1 | |
| 優位点 | 本業務の目的達成に寄与する独自の有益な提案が含まれているか。 | 4 | 1 | |
| 合計 | | 100 | | |

評価4:特に優れている 評価3:優れている 評価2:普通 評価1:劣っている 評価0:特に劣っている

総合点:

※本評価基準における最低基準点は、60点（評価値の100分の60）とする。